



浜松医科大学小児科学雑誌 1巻1号 投稿方法・投稿規定

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 浜松医科大学小児科学雑誌編集部 公開日: 2021-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/00003800

浜松医科大学小児科学雑誌への投稿方法

以下のファイルをダウンロードして、投稿原稿を作成してください。

<http://www2.hama-med.ac.jp/w1b/pediatr/students/kenkyu/index.html>

- 1) 投稿規定
- 2) 投稿テンプレート
- 3) 投稿時必要書類



原稿送付先

E-mail : Ped_Journal@hama-med.ac.jp

〒431-3192 浜松市東区半田山 1-20-1

浜松医科大学 小児科学教室内

浜松医科大学小児科学雑誌編集部 宛

発行者

浜松医科大学小児科学雑誌編集部

〒431-3192 浜松市東区半田山 1-20-1

浜松医科大学 小児科学教室内

電話 : 053-435-2312 / FAX : 053-435-2311

浜松医科大学小児科学雑誌

投稿規定

投稿資格

本誌への投稿資格は浜松医科大学小児科およびその関連病院小児科に勤務する医師であることとする。

ただし、著者が上記に該当しない場合（医師に限る）、または研修医（医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修を受けている医師）の場合、共著者に浜松医科大学小児科およびその関連病院小児科に勤務する医師を含むときにはこの限りでない。

投稿内容と採否及び著作権の帰属

- 論文の種類は総説、原著（臨床研究、基礎研究、症例報告）、その他とし、未発表のものに限る。
- 論文の採否は本誌編集委員会から委嘱された査読者の意見を参考にして編集委員会において決定する。また編集方針に従って原稿に加筆、削除、修正などを求めることがある。
- 投稿論文の著作権は「浜松医科大学小児科学雑誌」編集部に委譲するものとする。

1. 浜松医科大学小児科ホームページより Microsoft Word で作成した「投稿テンプレート」をダウンロードして使用する。ダウンロードできない場合には、「浜松医科大学小児科学雑誌」編集委員会に連絡する。
2. 使用するワープロソフトはMicrosoft Word のみとする。フォントは原則としてMS 明朝（英数字はTimes New Roman）10.5 ポイントを使用する。Macintosh で作成する場合、ファイル名の拡張子「.doc」を消さないこと。
3. 「投稿時必要書類」内にある「著作権に関する届出書」ならびに「利益相反自己申告書」を記載する。
4. 「投稿時必要書類」と原稿を「浜松医科大学小児科学雑誌」編集部にもメールで送付する。査読後の指示による再投稿の際も同様に原稿をメールで送付する。

原稿作成要領

1. 原稿は日本語とする。横書きとし原則として常用漢字を用いる。学術用語は日本医学会の所定に従い、英語つづりは米国式とする。句読点は「、」「。」を用いる。
2. 論文の1頁目には表題、所属、著者名（それぞれ英文も併記、姓名は「Taro YAMAKAWA」のようにローマ字を併記する）を記載する。
5つ以内のキーワード（日本語）を記載する。
臨床研究、基礎研究の原著論文は原則として、概要、緒言、方法、成績、考案、結論、参考文献の順に記載する。
症例報告の場合は、概要、緒言、症例、考案、結論、参考文献の順に記載する。
統計解析を行った場合は、統計処理法を必ず明記する。但し原著以外の

論文の記載様式はこの限りではない。

3. 本文中の引用部位の右肩には文献番号 1), 2) を付け、本文の終わりに本文に示した順に羅列する。引用文献は研究に直接関係するものにとどめ以下の記載法に従うこと。なお、本邦の雑誌名は各雑誌により決められている略称を用い、欧文誌は Index Medicus に準ずる。

著者名を記載する場合、著者名は、3名までは全員を記載する。4名以上の場合は最初の3名を記載し、「, 他」あるいは外国語文献の場合は「, et al」と記載する。

1. Takada H, Yoshikawa H, Imaizumi M, et al. Delayed separation of the umbilical cord in two siblings with Interleukin-1 receptor-associated kinase 4 deficiency: rapid screening by flow cytometer. *J Pediatr.* 2006; 148: 546 - 548.
2. Beltramin AU, Hertzig ME. Sleep and bedtime behavior in preschool-aged children. *Pediatrics* 1983;71:153-158.
3. 菅 秀, 富樫 武弘, 細矢 光亮, 他. 13 価肺炎球菌結合型ワクチン (PCV13) 導入後の小児侵襲性肺炎球菌感染症 (IPD) の現状. 病原微生物検出情報 (IASR) . 2018; 39: 112 - 1113.
4. 松永 英. 日本における遺伝性疾患の頻度. 日暮 眞編. 遺伝相談. 小児科 Mook32. 東京:金原出版, 1984:1-11.
5. Dorken B, Moller P, Pezzuto A, et al. CDw75. In:Knapp W, Dorken B, Gilks WR, et al, eds.Lymphocyte typing IV:white cell differentiation antigens. New York:Oxford University Press,1989:109-110.
6. 厚生労働省. 乳児家庭全戸訪問事業の実施状況調査.
<https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/000349534.pdf>

4. ヒトを対象とした研究は「ヘルシンキ宣言 (以後の改訂を含む)」、国により策定された医学研究に関する最新の法律および指針に、また動物実

験は「大学における動物実験の実施に関する基本的な考え方について（日本学術審議会）」およびこれらに準ずる指針の規定を遵守すること。特にヒトを対象とする研究においては、患者等の匿名性を十分守ったうえで、論文中に患者（あるいはその代諾者）からインフォームド・コンセントを得たこと、またはオプトアウトを行ったこと、所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の承認を得た旨を記載すること。症例報告においても、個人が特定される可能性が高いと考えられる場合、患者（あるいはその代諾者）から書面による同意を得たことを記載する。同意が得られなかった場合は所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の承認を得た旨を記載する。保険外診療や適応外使用に関しては別途必要に応じて所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の承認を得た旨を記載する。介入研究のみならず観察研究（後ろ向き研究含む）も所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の承認を必要とする。症例報告において何例からの検討が倫理委員会・治験審査委員会等の承認を必要とするかは所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の基準に準じ、審査不要の場合はカバーレターにその旨を記載する。

5. 論文の長さは特に制限はない。
6. 外国の人名および薬品名は必ず原語を用いる。
度量衡は km, m, cm, mm, μ , m μ , l, dl, ml (cc でなく), kg, g, mg, γ , mEq/l, mg/dl などを用い、数字は算用数字とする。
7. 図表（カラーも可）は2段の表を挿入し、上に図、下に図の説明を記載するような体裁で適宜挿入する（編集の都合により適宜場所を変更することもある）。

すでに刊行されている雑誌や著者から図表を引用する場合には、著作権を有する出版社あるいは学会、著者などから書面にて了承を得た上、図

表に文献の記載順序に従って出典を明らかにする。

画像データは仕上がり寸法で解像度 350pixel/inch を目安に作成する。

図はMicrosoft Power Point で送付することも可とする。

校正

論文受理後に著者より事務局に送られた電子媒体による最終原稿を著者校正されたものとみなす。ただし組版面積に影響を及ぼすような改変は認めない。

投稿・掲載料

投稿料・掲載料は無料とする。

公開と別刷

雑誌は、浜松医科大学学術機関リポジトリにおいて公開され、別刷は当面的間作成しない。

原稿送付先

E-mail : Ped_Journal@hama-med.ac.jp

〒431-3192 浜松市東区半田山 1-20-1

浜松医科大学小児科学教室内

浜松医科大学小児科学雑誌編集部宛